

◆「環境保全のための費用をどうやって捻出するか」というテーマに正面から向き合い、「県民参加」による検討を推進してきた神奈川県

～真の市民参画による水源環境の保全へ、新たな1歩がここに！～

# 参加型税制・ かながわの挑戦

## —分権時代の環境と税—

神奈川県 監修

A5判・210頁・定価2,100円（本体2,000円）

### 本書の内容

- ◆行政、企業、NPO、住民などが対等な立場で参加して、環境保全のための行財政・負担のあり方を考えようではないか——そんな新たな発想から、神奈川県が推進する「参加型税制」創設。一連の取組は、単に新税の導入という目的に止まらず、広く一般県民の参加を促し、意見交換を重ねることで人々の環境保全意識を啓発し、行政・企業・NPOのパートナーシップを生み出そうとしている点で、幅広い注目を集めている。
- ◆本書は、その取組の詳しい経緯や、『かながわ発「水源環境」シンポジウム』に代表される具体的な活動の歩みを紹介。更に、水源環境の現状や、水源環境に関する市民の意識調査結果、全国各地の水源環境保全の試み事例、専門家による提言等、豊富な内容を収録。
- ◆環境問題に無関心ではいられない時代、環境保全の「財政負担」をどうするのか？これからの時代の環境行政のあり方に一石を投じる、自治体職員、そして広く一般市民にとっても貴重な視座を示す必読の内容です。



第一法規

## 目次(抜粋)

### 第1章 水源環境の現状——水源地域で何が起きているのか

#### 第1節 私たちの暮らしと水

水は生活に必要な不可欠な存在／水の出ない生活の不便さ／深刻な水不足に悩まされる世界の国々／21世紀は水紛争の世紀／『世界水フォーラム』の開催／地球上の水で使えるのはたったの0.01%

コラム：人はどのように自然と関わっていべきか／内山節

#### 第2節 水と水源環境の現状

日本は水の輸入大国／水源開発施設に依存する日本の水需給／取水された水の使われ方／水道水は飲みたくない!?!／水道水が持つ「カルキ臭」の原因／水道水は汚染されている!?!／ミネラルウォーターの価格は水道水の1000倍以上／

コラム：私が愛する森林・自然・共生／葛城奈海

#### 第3節 水源環境の荒れは私たちに何をもたらすか

日本における水質汚染の現況／水を汚しているのは家庭の排水!?!／水質汚濁防止に向けた取組／化学物質の汚染に晒される地下水／森林の荒廃が水源環境の荒れを引き起こす／安全でおいしい水を手に入れるために

### 第2章 水源環境と税——生活環境税制創設に向けた神奈川の取組

#### 第1節 神奈川県における水源環境の現状

4つのダムに支えられる豊富な水資源／神奈川県におけるダム開発の歴史／供給の将来展望／富栄養化が進む県内のダム湖／課題が残る水源地域の生活排水対策／地下水をめぐる現況／荒廃が進む神奈川の森林／ダム湖に流れ込む流木と土砂／水源の保全に向けた県の取組／神奈川の水を取り巻く現状の問題と今後の課題

コラム：水遊びガサガサ隊が行く／中本賢

#### 第2節 環境問題への税からのアプローチ

『生活環境税制』創設の考え方／『生活環境税制』提唱の経緯／初めに税ありきか、税は一つの手段なのか／専門部会による報告書／新たな税制措置の必要性／

「水」に関する今後の施策／どのような形で財源を確保するか／県民参加の必要性

コラム：環境と税について考えよう／青木宗明

#### 第3節 「県民参加」を推進する神奈川県取組

「県民の意志」をどう反映させるか／ホームページで議事録全文を公開／情報提供と意見交換の場を設定／仕事帰りの人を対象にした『ナイト・トーク』／かながわ発「水源環境」シンポジウム／今後の取組

コラム：上下流の人たちで「話し合うこと」が大切／中川雄三

#### 第4節 水源環境に関する県民の意識

県民意識調査の概要／水道水は安心か／森林の実態と水源かん養機能に対する認知度／半数以上が「適正な額ならば負担する」／5パターンの負担額ごとに賛成・反対を調査／「月間50円の負担」では約7割が賛成／「月間500円の負担」でも過半数の人が賛成／導入にあたって行政は何に配慮すべきか／きれいな水が安心して飲めるのなら協力はしたい

### 第3章 事例紹介——水源環境保全の新たな試み

- 事例1 県域を越えた上下流一体の水源森林保全（愛知中部水道企業団）
- 事例2 生活者が変える琵琶湖の環境（滋賀県、滋賀県環境生活協同組合）
- 事例3 霞ヶ浦の再生事業『アサザプロジェクト』（特定非営利活動法人アサザ基金）
- 事例4 パートナーシップで地域環境を改善（仲介型NPO法人「グラウンドワーク三島」）
- 事例5 水源の森林を守る新税制（高知県）

### 第4章 提言——水源環境の保全と費用負担の手段構築に向けて

- 提言1 インセンティブ目的の課税論
- 提言2 環境資産・地域経済・参加型税制
- 提言3 水源環境税への取組と分権型自治体財政